



2024年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6262-3456

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	10,328	31.2	662		329		211	
2023年6月期第3四半期	7,870	69.4	127		323		283	

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 193百万円 (%) 2023年6月期第3四半期 316百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	20.69	20.29
2023年6月期第3四半期	27.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	7,518	1,662	21.0
2023年6月期	6,793	619	7.7

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 1,581百万円 2023年6月期 520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		2.50		2.50	5.00
2024年6月期		2.50			
2024年6月期(予想)				5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	26.1	780		470		350		34.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期3Q	11,168,400 株	2023年6月期	10,550,400 株
期末自己株式数	2024年6月期3Q	23 株	2023年6月期	425,823 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期3Q	10,227,059 株	2023年6月期3Q	10,124,592 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

（1）経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による各種行動制限が緩和され、2023年5月8日に当該感染症が、感染症法上、2類相当から5類感染症へ分類変更されたことで、3年にわたる当該感染症による行動制限がなくなり、経済活動の正常化に向かう動きが鮮明となりました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や世界的な資源価格の高騰、円安による物価の上昇等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当飲食業界におきましても、新型コロナウイルス感染症への行動制限緩和による経済活動の正常化に伴い、個人消費意欲の高まりおよびインバウンド需要の回復を見せつつあります。一方で原材料費、光熱費等の高騰などにより外食業界をとりまく環境が大きく変化しております。

当飲食業界におきましても、経営環境は厳しいものとなりましたが、当社グループは飲食事業において、以下のとおり新規4店舗をオープンいたしました。

いしがまやハンバーグ業態では、2023年12月、愛知県岡崎市の商業施設「イオンモール岡崎」内にて、「いしがまやハンバーグ イオンモール岡崎」、東京都国分寺市の商業施設「セレオ国分寺」内にて、「いしがまやハンバーグ セレオ国分寺」の2店舗をオープンいたしました。

VEGEGO業態では、2023年11月東京都西多摩郡日の出町の商業施設「イオンモール日の出」内にて、「VEGEGO オヌレシクタン&cafeイオンモール日の出」をオープンいたしました。

とんかつ業態では2024年3月、埼玉県富士見市の商業施設「三井ショッピングパークららぽーと富士見」内にて、「とん久 ららぽーと富士見」をオープンいたしました。

このように、当社グループは、KICHIRI業態・いしがまやハンバーグ業態・VEGEGO業態等、あらゆる立地に対応した様々な業態を保有しており、トレンドを的確に捉える高い業態開発力を持っています。また、従業員一人ひとりが、当社グループの企業理念である「大好きがいっぱい」を表現し、当社グループ独自の“おもてなし”を提供することで競合他社との差別化を図ってまいります。

フランチャイズ事業については、いしがまやハンバーグ業態にて、西日本最大級の総合スーパーであるイズミが展開するショッピングセンター「ゆめタウン」への出店を行っております。

プラットフォームシェアリング事業については、当社がこれまで培ってきたプロデュース力やコンサルティング力を活かして多種多様な分野におけるブランドホルダーとのコラボレーションを実現することで新たな顧客価値を創造し、また人々の働き方やライフスタイルの変化から生まれる様々な課題を新しいテクノロジーによって解決するDXについても積極的に推進しております。このように事業を複数展開する中、プラットフォームシェアリング事業で培ったノウハウが、日本全体の活力向上を目指す地方創生に寄与できると考え、2023年4月より、地方創生事業を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、10,328百万円(前年同期比31.2%増)、営業利益662百万円(前年同期は営業損失127百万円)、経常利益329百万円(前年同期は経常損失323百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益211百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失283百万円)となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は7,518百万円となり、前連結会計年度末と比較して724百万円増加しております。

流動資産合計は4,347百万円となり前連結会計年度末と比較して494百万円増加しております。増加の主な要因は、現金及び預金が492百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産合計は3,171百万円となり、前連結会計年度末と比較して230百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が170百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は5,856百万円となり、前連結会計年度末と比較して317百万円減少しております。

流動負債合計は2,479百万円となり、前連結会計年度末と比較して286百万円増加しております。増加の主な要因は、未払金が91百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債合計は3,376百万円となり、前連結会計年度末と比較して604百万円減少しております。減少の主な要因は、長期借入金が571百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,662百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,042百万円増加しております。増加の主な要因は、公募による新株式発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ265百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益を211百万円計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月30日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,458,259	2,950,596
売掛金	379,632	601,877
原材料及び貯蔵品	100,090	108,103
未収入金	93,200	65,454
その他	821,836	621,132
流動資産合計	3,853,020	4,347,163
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,230,453	1,329,501
その他(純額)	236,794	308,348
有形固定資産合計	1,467,248	1,637,850
無形固定資産		
のれん	51,110	41,700
その他	114,991	68,172
無形固定資産合計	166,101	109,873
投資その他の資産		
投資有価証券	117,412	117,412
差入保証金	851,751	876,489
繰延税金資産	333,420	322,400
関係会社長期貸付金	—	100,000
その他	5,761	8,517
貸倒引当金	△766	△775
投資その他の資産合計	1,307,580	1,424,045
固定資産合計	2,940,929	3,171,769
資産合計	6,793,949	7,518,933
負債の部		
流動負債		
買掛金	333,698	416,447
1年内返済予定の長期借入金	699,564	762,564
未払金	332,492	424,369
未払法人税等	46,449	72,600
賞与引当金	—	35,143
株主優待引当金	17,451	15,612
その他	763,419	752,758
流動負債合計	2,193,075	2,479,496
固定負債		
長期借入金	3,753,591	3,181,668
資産除去債務	127,703	155,823
その他	99,642	39,366
固定負債合計	3,980,936	3,376,858
負債合計	6,174,011	5,856,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,530	647,468
資本剰余金	494,504	956,692
利益剰余金	△183,233	△22,242
自己株式	△170,218	△9
株主資本合計	522,582	1,581,908
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,822	△627
その他の包括利益累計額合計	△1,822	△627
新株予約権	34,754	36,188
非支配株主持分	64,424	45,108
純資産合計	619,938	1,662,578
負債純資産合計	6,793,949	7,518,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	7,870,785	10,328,515
売上原価	2,229,811	2,899,296
売上総利益	5,640,974	7,429,218
販売費及び一般管理費	5,768,768	6,767,135
営業利益又は営業損失(△)	△127,793	662,083
営業外収益		
受取利息	590	379
助成金収入	60,831	—
その他	6,394	4,084
営業外収益合計	67,816	4,464
営業外費用		
支払利息	16,411	14,906
暗号資産売却損	—	153,987
暗号資産評価損	235,277	133,111
支払手数料	1,119	2,024
その他	11,208	32,658
営業外費用合計	264,016	336,688
経常利益又は経常損失(△)	△323,993	329,859
特別利益		
新株予約権戻入益	47,515	—
助成金収入	12,432	—
特別利益合計	59,947	—
特別損失		
減損損失	—	78,976
特別損失合計	—	78,976
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△264,046	250,882
法人税、住民税及び事業税	30,024	63,383
法人税等調整額	13,570	△3,430
法人税等合計	43,595	59,952
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△307,641	190,929
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,539	△20,683
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△283,102	211,613

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△307,641	190,929
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△9,016	2,563
その他の包括利益合計	△9,016	2,563
四半期包括利益	△316,657	193,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△293,598	212,808
非支配株主に係る四半期包括利益	△23,059	△19,315

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年2月16日開催の取締役会において、公募増資による新株式発行及び自己株式の処分を行うことについて決議し、2024年3月5日に払込が完了しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が265,937千円、資本剰余金が462,188千円増加し、自己株式が170,209千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が647,468千円、資本剰余金は956,692千円、自己株式が9千円となっております。

（重要な後発事象）

（第三者割当増資）

当社は2024年2月16日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による新株式発行（オーバーアロットメントによる売出）を行い2024年4月3日に払込が完了しました。

- | | | |
|-----------------|-------|--------------|
| （1）発行する株式の種類及び数 | 普通株式 | 156,200株 |
| （2）発行価額 | 1株につき | 860.64円 |
| （3）資本組入額 | 1株につき | 430.32円 |
| （4）発行価額の総額 | | 134,431,968円 |
| （5）資本組入額の総額 | | 67,215,984円 |
| （6）払込期日 | | 2024年4月3日 |
| （7）割当先 | | みずほ証券株式会社 |
| （8）資金の用途 | | |

当社の連結子会社である株式会社K I C H I R I への融資を通じて、事業拡大のための新規出店に伴う設備投資関連費用、新規出店に伴う人件費人材採用費を含む運転資金の一部に充当する予定であります。